

寒中お見舞い申し上げます

風土工学デザイン研究所竹林征三さま、お正月はいかがお過ごしでしょう。

わたくし、今年も大阪の玉造から伊勢神宮 170 km に連れてもらいました。道中無事行けますよう、昨年 11 月 30 日に京都府大江町にあります元伊勢にお参りました。

なんと、あやかりたいお札が懸けられておりました、縁起の良いこと。



今日から伊勢に出発です！



12月28日朝7時玉造稲荷神社に到着



旅支度も完了



「豆三升」何の事かいな？

足の豆見ます、治療します。

8時30分足取りも軽く皆で街道をあるきます。



くらがりごえなら



きゅうならかいどう



最初の難関「暗峠」

鞍が返る程きついとか？



地元の方のお接待



二日目「帯解寺」 足下裸足のスリッパという豪傑



ここでもお接待



餅つきに参加の人も



昔の雰囲気の街道



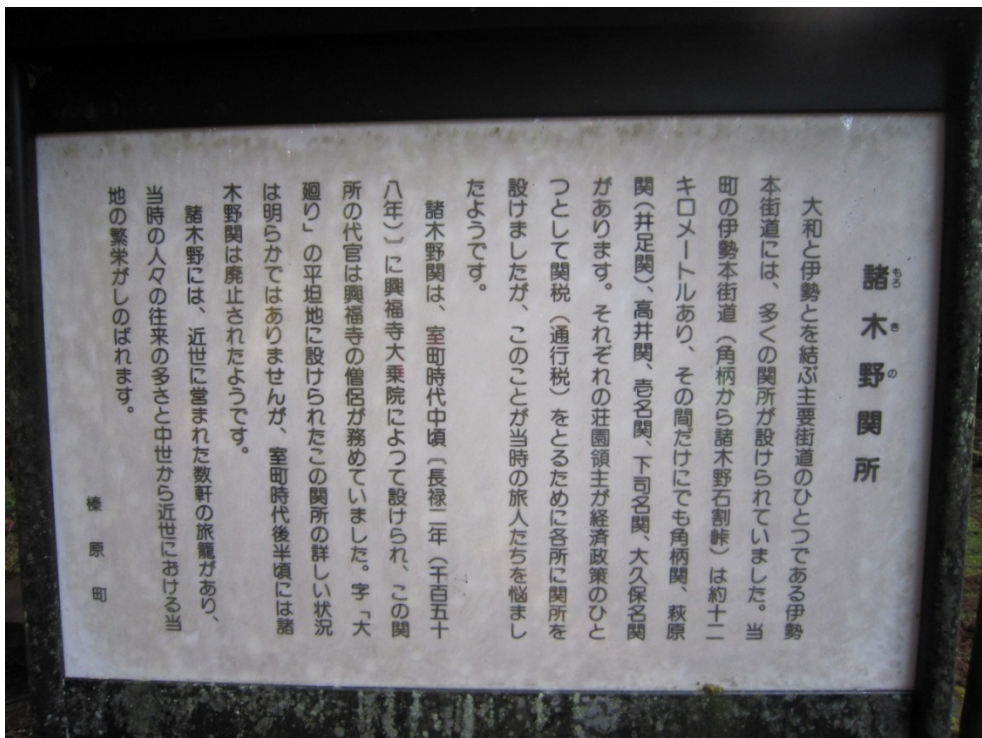
峠の旧家のお接待



ビックリの「千本杉」



中程に千本杉



諸木野



10時の休憩 私の講の最年少12歳のお嬢さん



11時43分

少し早いですが公民館をお借りしての昼ご飯



スタッフも驚き

「飲みきれないようなうれしさ」



奈良県境の「御杖村」でのお迎え



御杖村の方のお接待「猪汁」旨いの何の温もります。



16時57分 「牛峠」暗くなる



17時30分 暗くて気持ち悪い



御杖村の学校あとの雑魚寝 豆の手入れ



12月31日6時39分道の駅「姫石の湯」



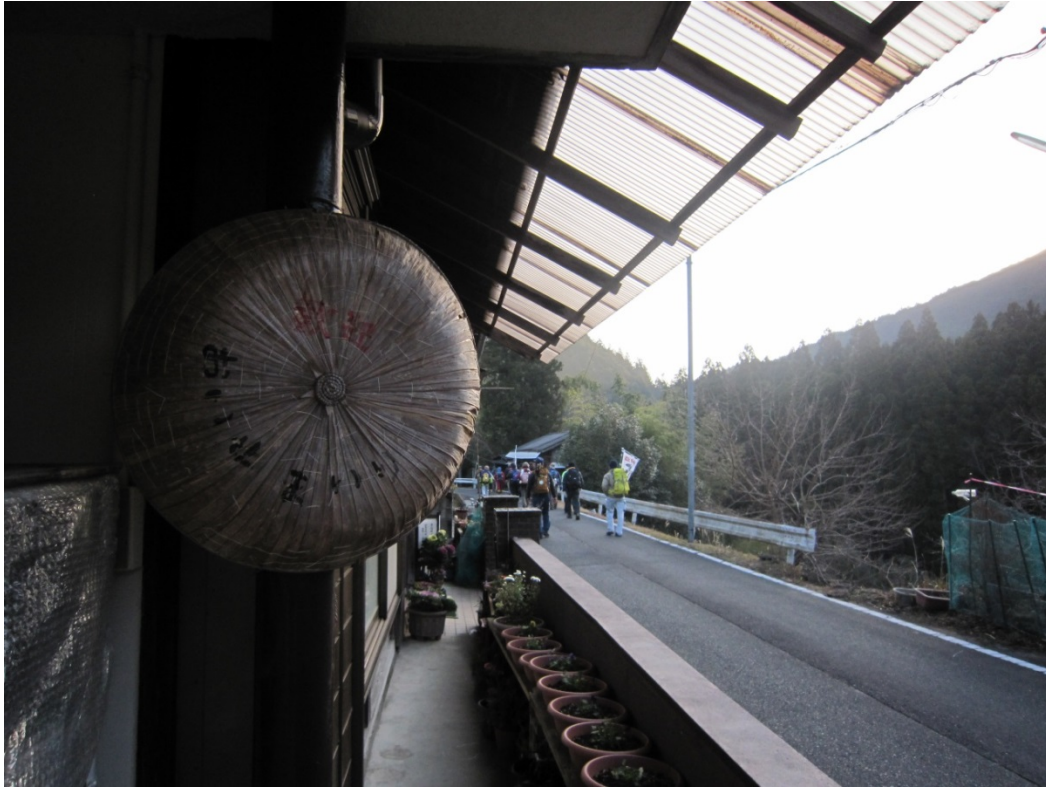
7時34分私の講です、ここから三重県 真ん中の私だけ「腹ぽて」



三重に入ると道標が「太一」に



これも道標が「太一」に



嬉しい歓迎



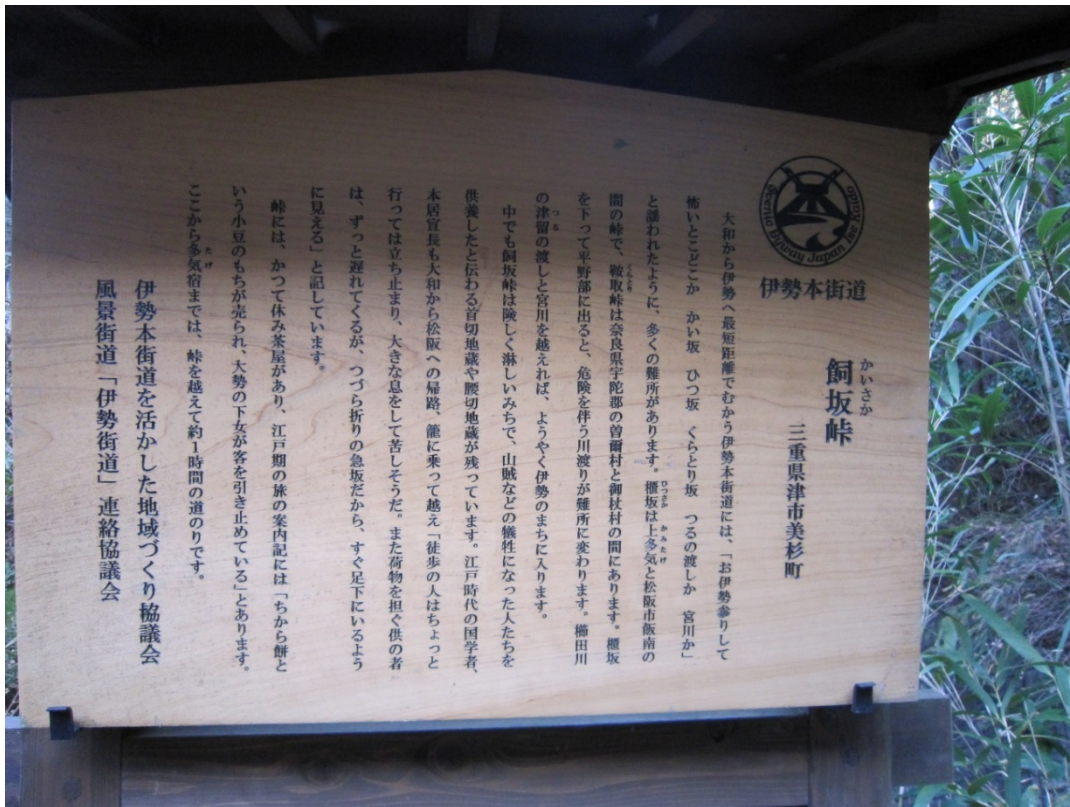
8時35分 「伊勢奥津駅」バスが代行で



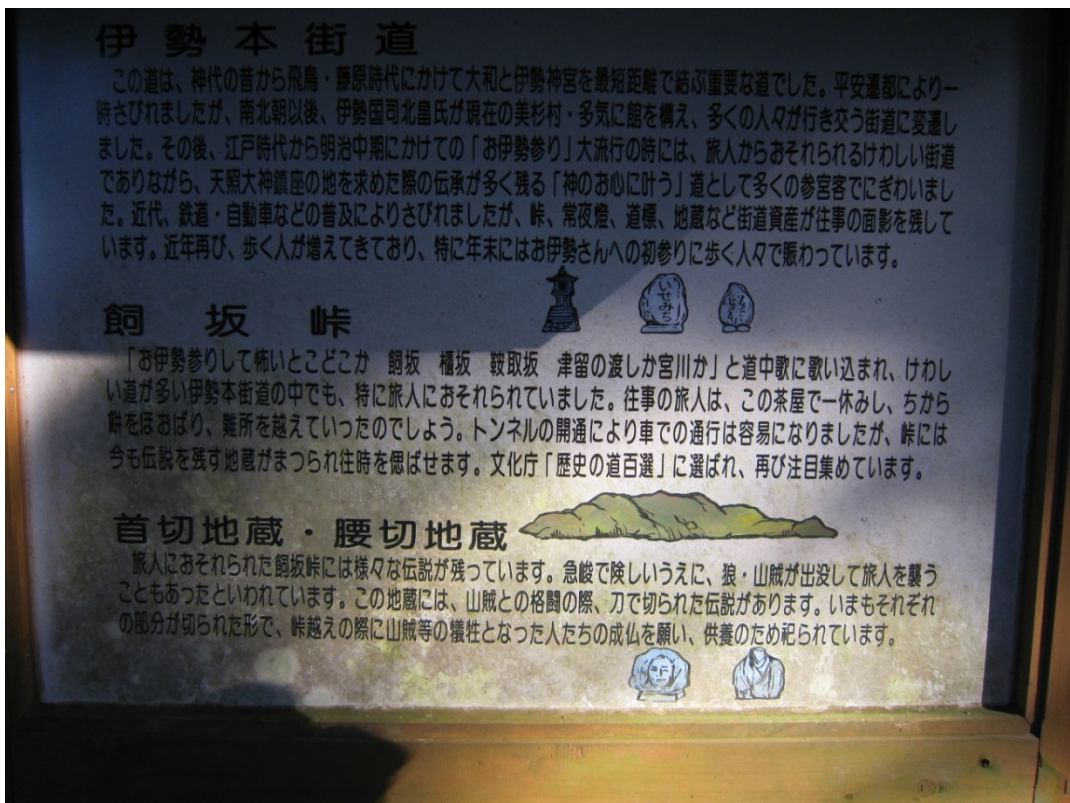
昔の屋号



橋の下には何と「猪の血抜き」凄い！



「飼阪峠」



山賊がでた飼阪峠



10時15分街道案内



江戸時代の屋敷跡「旧三木屋」



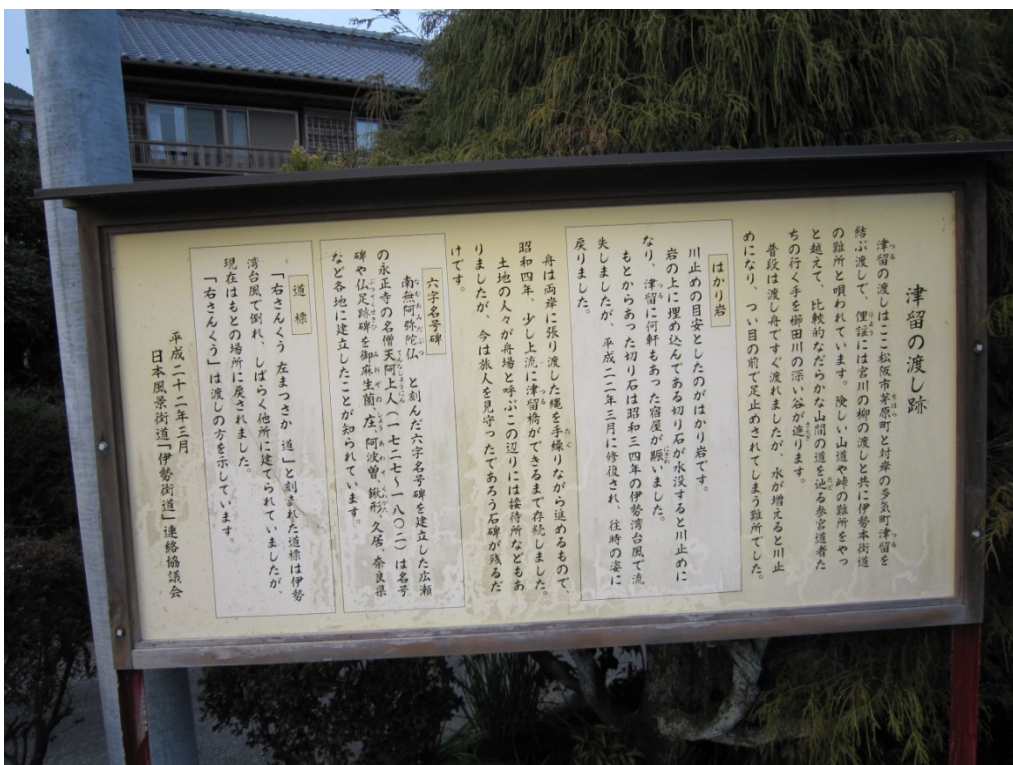
10時17分

皆が喜ぶ「すぐ伊勢」

先輩に「伊勢はあと少しがんばれ」と騙され。(伊勢は真直ぐの意味、後14時間)



1 3時57分 すぐ伊勢に気をよくして熟睡



津留の渡し 昭和の初めまで橋が架かるまでは難所



増水の度「川とめ」 16時12分これから暗くなる、後8時間



12月31日23時57分 間もなく新年です



おかげ横町を駆け抜ける「わっしょい」



0時です、「明けましておめでとうございます」。



1月1日5時02分京都駅に近鉄で2時間帰って来ました。



大阪玉造から伊勢まで170キロ3泊で完歩 京都市在住 松村肇